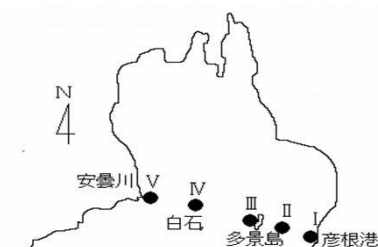


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和6年10月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和6年10月15日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場池先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

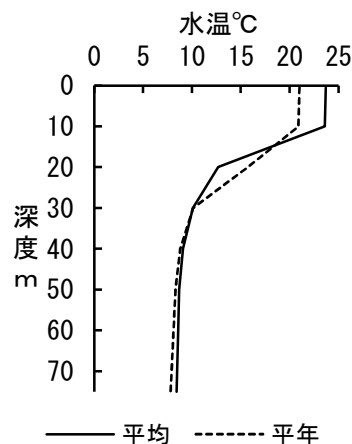
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2014年～2023年(平成26年～令和5年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 10月平均値 6.8m 平年値 5.7m

2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	10月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	23.7	21.0	+2.7
10	23.6	20.9	+2.7
20	12.7	15.7	-3.0
30	10.1	10.1	+0.0
40	9.1	8.8	+0.3
50	8.7	8.3	+0.4
60	8.6	8.1	+0.5
75	8.4	7.8	+0.6



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
9月下旬	27.6	23.5	+4.1
10月上旬	25.3	21.8	+3.5
10月中旬	23.4	20.4	+3.0

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	10月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	8.8	15.0	-6.2
10~20	3.4	4.0	-0.6
20~40	0.6	1.0	-0.4
40~75	0.1	0.4	-0.3

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

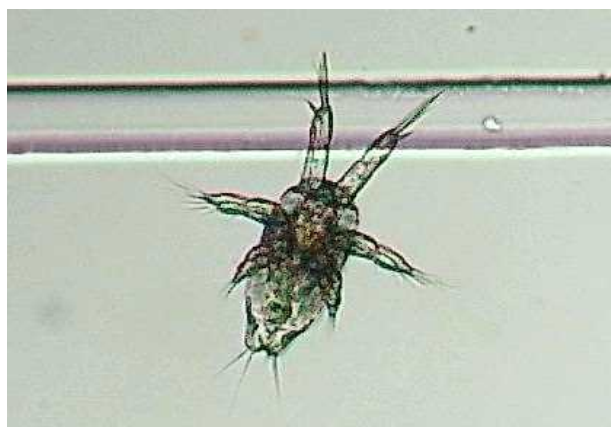
○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、両地点で*Mougeotia* sp. (ヒザオリ:緑藻) が細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生が個体数で最も多く認められた。



Mougeotia sp.



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度: mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	10月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	8.6	101.3	8.7	98.5	-0.1	(+2.8)
10	8.6	101.4	8.6	97.1	0.0	(+4.3)
20	6.7	63.4	7.1	71.7	-0.4	(-8.3)
30	8.6	76.4	7.9	71.3	0.7	(+5.1)
75	2.1	18.2	4.1	34.6	-2.0	(-16.4)